



アールエフ

素人集団の強みを生かし 開業医に喜ばれる医療機器を開発

無線とCCDカメラ技術をコアに、口腔内カメラや飲む内視鏡カメラ、被ばく線量の少ないデジタルレントゲンなど、コストパフォーマンスに優れた医療診断機器を次々と開発、驚異的な成長を遂げる。売上高に占める輸出比率は約50%、医工の連携先は大病院でも医学研究者でもなく、開業医である点が注目されている。

店舗戦略でコストダウンを実現

長野市に本社を置くアールエフは、医用のデジタルレントゲンや歯科用のワイヤレス口腔内カメラで国内トップシェアを握る医療機器メーカーである。ワイヤレス口腔内カメラでは世界シェアの八五%を占め、とくに欧米の歯科の間では抜群の人気と知名度を誇っている。販売先は大病院や医学研究者ではなく、町開業医が中心。資金にあまりゆとりのない医師たちに販売するため、使い勝手

のよさと価格の安さが身上である。

たとえば、二〇〇五年に発売した主力製品のデジタルレントゲンセンサー「NAOMI」は、従来の装置が一台数十万円だったのに対し、三〇〇万円台と格段に安い。従来のデジタルレントゲンにアモルファスシリコンセンサーというデバイスを使用するのが一般的だったが、NAOMI自体が高価なため、製品価格は高なる。そこで同社は得意分野のCCD（撮像素子）技術を駆使し、価格の安いCCDを最大で一九二個並べて画像を再現させた。

である。「歯科医にては英文のタイレクトメールを送ったり、渡米して、慣れない英語で説明したり、苦労しましたが、結果的にはそれがよかった（丸山社長）」。アメリカでの販売数が伸びると、その

情報を入手した日本の若手歯科医からの注文が増加。その間に薬事法の認可も取得し、発売から一三年後の今日、同社のワイヤレス口腔内カメラは、日本欧をほじめとする世界市場をほぼ手中に収めるまでに成長したのである。



次世代カプセル内視鏡「Sayaka」。カプセルが二重になっており、内側のカプセルが回転しながら消化管壁を撮影する

歯科用ワイヤレス口腔内カメラ「アインシュタイン・ステラ」。性能だけでなく、歯科医の扱いやすさも追求している。下の写真は口腔内を映したところ

トツプをはじめ、技術系出身ではない社員が、高価な材料や部品は使わない。高価なものを使えば、開発できたとしても、製品価格が高くなり、開業医に手の届かないものになってしまう。それを回避するために時間をかけてブラッシュアップに努めているのだ。

だが、高価な材料や部品は使わない。高価なものを使えば、開発できたとしても、製品価格が高くなり、開業医に手の届かないものになってしまう。それを回避するために時間をかけてブラッシュアップに努めているのだ。

株式会社アールエフ

本社：長野市中御所3
設立：1998年6月
売上高：98億円（2011年5月期）
従業員数：200人
事業内容：産業／歯科／医療分野のX線CT、デジタルレントゲン、内視鏡・カプセル内視鏡・使い捨て内視鏡等
URL <http://www.rfsystemlab.com>

偶然がきっかけで医療機器事業に参入

同社は一九九三年にコンピュータ技術者だった丸山社長が持ち前の無線とCCDカメラ技術を武器に創業。当初は、映像を無線で送信するCCDカメラを製造していた。工業用だったが、鉄道模様に

素人集団だからこそできる常識にとられないモノづくり

いま、同社の製品で話題を集めているのが、飲むカメラの「NORITA」だ。「二〇〇一年発表・未販売」とそれを発展させた「Sayaka」だ。錠剤のようなカプセルに、小型照明用LEDとCCDを組込んだワイヤレス内視鏡である。従来のファイバー式内視鏡では撮影できない、しかも電力を無線で外から供給できるため、将来のポテンシャルはきわめて大きい。

しかし、〇五年に「Sayaka」を発表したものの、いまだに販売はしていない。その理由を丸山社長は「販売しようと思えば明日でもできるのですが、じつを言うとカプセルは、ファイバー式のものより画像が見劣りし、それを克服しない限りは発売しないことにしているのです」と話す。ともすると価格の安さに目が向きがちだが、品質に相当なこだわりを持つ。

一見、単純な考えだが、この手法を実現させたのは同社が世界で初めてである。それだけではない。レントゲン撮影するときには放射線照射によって被ばくするが、「NAOMI」は従来の一六分の一の照射量で撮影が可能。しかもフィルムが不要である。販売は、商社などを通さず、顧客である医師たちに主要都市にある同社の店舗へ来店してもらい、そこで直接販売する。医療機器が高価なのは、訪問販売にともなう営業経費が要因のひとつだが、「当社の方法は店舗の維持にこそお金の掛かりますが、訪問販売に比べると格段に営業経費が少なくて済み、製品のコストダウンには欠かせません」と丸山次郎社長は語る。



丸山次郎
アールエフ
代表取締役社長